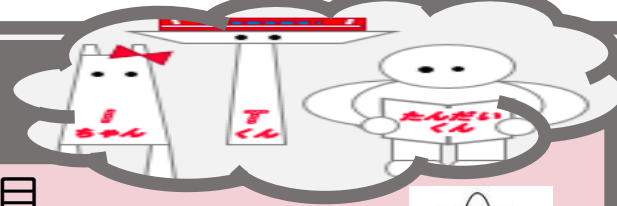




## 1 就職合格、嬉しい報告!



本校で学ぶIT専門技術と卒業生の活躍が注目されています。合格を頂いた企業と学生は次のとおりです。  
「株式会社ジェイテック」小菅尚紀（土浦工高卒）さん  
「アイ・イー・シー株式会社」野村俊介（土浦工高卒）さん



土浦工：校章



株式会社  
ジェイテック

アイ・イー・シー株式会社

小菅尚紀さん

野村俊介さん

### Q1 これからのIT活用と抱負?

A1 小菅さん「人に役立ち、喜んでくれるようなプログラムができる技術者」  
野村さん「人々の生活を支える技術者」

### Q2 あなたの趣味は?

A2 小菅さん「映画鑑賞」  
野村さん「ゲームと楽器」



### Q3 本校での学びと成果は?

A3 小菅さん「短大で学んできたことを最大限に発揮することができた」  
野村さん「プログラミンを学び技術力が向上しました」



恩師の斎藤旭教諭（土浦工）を囲み喜ぶ学生達

## 2 IT短大にピッタリの体育

本校の体育では、ICT機器を活用した授業を実施しています。使用しているゲームメーカーの機器は、フットベルトを巻き、大きなハンドルを持って運動するものです。

一戸虹都美さん（水戸三高卒）は「ハンドルを持って、画面を見ながら、楽しく運動しています。結構疲れます。」と話していました。体育担当の田井楓先生は、「GIGAスクール構想により、体育におけるICT活用も進んでいます。このスタイルはIT短大にピッタリだと思います」と話していました。



体育の授業風景



ICT活用の有効性を話す田井楓先生

## 3 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加えて「社会人基礎力」の向上のために、新聞スクラップを実施しています。IT社会を支える人材育成の一環となるものです。

<記事> 読売新聞(2023年4月7日)  
**AI使い論文 揺れる科学誌**

### ◇要約

●一戸虹都美さん（水戸三高卒）  
文章を生成できる対話型の人工知能「チャットGPT」が、昨年9月から無料公開された。精度の高さゆえに共著者として利用する研究者も出てきたが、サイエンス誌は利用禁止、他科学史も共著者としては認めないとした。

### ◇感想

●飯島喬仁さん（勝田工高卒）  
IT技術者を目指す身としては、便利だからといって頼りすぎるのではなく、自分自身が成長できるよう上手く使いこなしていくことが大切だと思った。便利なもの程、使い方に注意しようと思った。

●關山綾仁さん（常磐大学高卒）  
社会が発展したことによりAIを使った技術が増え、今までに考えられなかった問題が発生するようになってきた。

これからAIを使ったことによる問題が増えると思うが、慎重に利用することが重要である。

●根本遼太さん（那珂高卒）  
この記事を読んで実際に私も「チャットGPT」を利用してみた。私からの質問に対して的確に、素早く、論理的な返信で、まるで人間と会話しているような気持ちになった。同時に、考える力を失う不安を感じてしまった。

●久野響介さん（勝田工高卒）  
今話題の「チャットGPT」を含む文書生成AIの進化は凄ましい。しかし、新しい技術が生まれればそれを悪用する人も出てきてしまう。それらを規制するルールや法令の整備が急務であると改めて考えた。

